

東部方面に新たな斎場（火葬場）を整備します。

横浜市では、超高齢社会の到来により、火葬需要も増え続けていくことが見込まれています。

これまで、全ての火葬枠を市民優先として、早めに予約できるようにしたほか、従来、休みであった友引もご利用いただける斎場を増やし、火葬枠を拡大するなど、斎場の運営面で様々な工夫を行ってきましたが、それだけでは将来にわたる火葬の安定供給を確保することは難しい状況です。

そこで、横浜市の将来を見据えて、鶴見区大黒町で新たな斎場（東部方面斎場（仮称））を整備することにいたしましたので、お知らせします。

【整備用地について】

所 在：鶴見区大黒町 18-18

面 積：8,838.97 m²

用途地域：工業専用地域

建ぺい率：60%

容 積 率：200%

臨港地区：横浜港臨港地区



【施設概要（予定）】

- 火葬炉 16 炉（予備炉 1 炉含む）
- 告別・収骨スペース、
- 休憩室
- 駐車場
- 事務室
- 売店 など

※建物規模は今後検討を行います。

【今後の整備スケジュール（予定）】

- 平成 30 年度 基本計画策定、整備手法検討 等
- 平成 31～36 年度 測量、地質調査、火葬炉検討、都市計画手続き、
基本設計、実施設計、土木工事、建築工事 等
- 平成 37 年度 供用開始

お問合せ先

健康福祉局環境施設課 斎場機能拡充等担当課長 高岡昭人 Tel 045-671-2450